

ニッパツハイライト2008

ニッパツは地域に根ざした企業として、2008年度も様々な事業活動、CSR活動を展開しました。

横浜開港150周年、そして当社創立70周年 これからも社会の発展のために

2009年、当社が本社を置く横浜市は、開港150周年を迎えました。これを記念して数多くのイベントが開催されています。その中心となって活動を推進する横浜開港150周年協会の会長に、当社の佐々木謙二会長が就任しており、当社も積極的に支援しています。

4月28日に開幕したテーマイベント「開国博Y150」では、2008年秋から当社の広告に起用している「鉄人28号」を各所に掲出し、横浜市民や横浜を訪れる人々に向け、横浜のPRに一役買っています。



「開国博Y150」のオープニングで、中田横浜市長らとともにテープカットを行う佐々木会長(右から2人目)

また当社は、この横浜開港150周年と時を合わせるように、2009年9月8日、創立70周年を迎えました。横浜で育ち、地元で根ざした企業として、横浜そして社会の発展に貢献し続けていきます。



イベント会場を結ぶシャトルバスなどに「鉄人28号」をあしらったラッピング広告でPR



「開国博Y150」の来場者にくつろいでもらうための休憩施設に協賛

「横浜型地域貢献企業」に認定される

当社は横浜市から「横浜型地域貢献企業」に認定され、2009年4月3日、横浜シンポジアで、中田市長から天木社長に認定証が手渡されました。この制度は、雇用や取引などで地域を意識した経営やCSR活動を行う市内企業を支援するもので、これまで40社が認定されており、今回新たに認定された28社の中に選ばれたものです。当社は、今後も横浜市に本社を置く企業として、ものづくりとともに、環境保全、雇用などあらゆる面で地域に貢献していきたいと考えています。



中田市長から認定証を受け取る天木社長(右)

※役職などは、同一イベント開催時のもの

当社キャラクターに「鉄人28号」を起用 広告、採用活動などに展開

当社は、企業イメージキャラクターとして「鉄人28号」を起用し、様々なところに展開しています。あたたかも本物の金属で造ったような質感のあるCGを使い、2008年10月から新しいテレビコマーシャルを放映し始めたのを皮切りに、当社ホームページ、横浜駅などの看板、採用活動のツールなど、統一的に登場させています。

「鉄人28号」は故・横山光輝氏の人気マンガで、現在でも毎年のように映画や単行本がつけられるなど根強い人気があります。今回、当社の呼称「ニッパツ」が「28」と語呂が合うこと、「鉄」が当社の事業内容と合致することなどから起用に至ったものです。

「ニッパツ三ツ沢球技場」とともに、「鉄人28号」は、当社の知名度および企業イメージの向上に効果を発揮しています。特に、採用活動向けに制作した駅貼りポスター3部作は、「第30回日本BtoB広告賞」で特別賞を受賞しました。今後も当社を知らなかった人々を含め、多くの方に当社の真の姿を理解してもらおうきっかけづくりとして展開を図っていく予定です。



リアル感のあるテレビCM



高い評価を受けた駅貼りポスター



「ニッパツ三ツ沢球技場」2年目迎える

2年目を迎えた「ニッパツ三ツ沢球技場」。おかげさまですっかり定着し、サッカーJリーグの公式戦を中心に、多くの来場者でにぎわっています。

2008年は、開幕前にオーロラビジョンが完成しましたが、2009年はナイター設備が充実しました。これまでよりも一層明るくなり、サポーターの皆さんにナイターもさらに見やすく楽しんでもらえるようになりました。この照明設備に使用された投光器は、ニッパツの関連会社の横浜機工が製造したものです。

ニッパツはこれからも、グループをあげて「ニッパツ三ツ沢球技場」を盛り上げていきます。



2年目を迎え定着した「ニッパツ三ツ沢球技場」と新しい照明設備に使用された投光器

